

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内 2617)

E-mail: c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 564,653 千円 (前年度予算額：382,226 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	382,226	0	0	0	0	0	0	340,800	41,426
要求額	564,653	0	0	0	0	0	0	506,700	57,953
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

(2) 事業内容

県立社会福祉施設の営繕工事 (実施設計及び改修工事) を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

【継続工事 (令和元年度からの債務負担)】

○陽光園照明器具改修工事 23,135 千円

施設建築から44年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○ひまわりの丘第一・二学園空調・給排水管改修工事 59,576 千円

施設建築から第一学園：31年、第二学園：43年を経過し老朽化が著しいため改修する。

【継続工事 (令和2年度からの債務負担)】

○みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 51,390 千円

施設建築から39年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○はなの木苑管理棟等屋上外壁等改修工事 125,395 千円

施設建築から 20 年を経過し劣化が著しいため改修する。

【継続工事（令和 3 年度からの債務負担）】

○陽光園管理棟屋上防水改修工事 95,350 千円

前回防水施工時から 19 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○陽光園熱源機器改修工事 40,364 千円

前回改修時から 24 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○三光園空調改修工事 145,137 円

施設建築から 39 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

○ひまわりの丘第一・二学園機械棟屋上外壁改修工事 24,306 千円

施設建築から 31 年を経過し老朽化が著しいため改修する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10（予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	181	改修工事現場への出張旅費
使用料	83	出張に係る高速代
需用費	940	消耗品費 577・燃料費 363
役務費	445	郵送費・通費
委託料	14,797	改修工事の設計委託料・工事監理委託料
工事請負費	548,207	改修工事の請負費
合計	564,653	

決定額の考え方

4 参考事項

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H31)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	
					達成率	
① 実施が必要な大規模 営繕工事の年度実施 件数	0	6	12			%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 ひまわりの丘第一・二学園空調・衛生設備改修工事 ひまわりの丘第三学園作業棟給排水設備改修工事 みどり荘下水道接続工事
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	